

子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2022年2月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
https://www.kodomono-mori.net mailto:info@kodomono-mori.net

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



間もなく「東日本大震災の日」を迎えようとする今、

「全国集会＆研修会2022」が開催され、「保育防災アクションマイスター」の1期生が巣立って行きました。

「保育防災アクションマイスター」の資格は、“本当に子どもたちの命を守る”という志を持って、

本気で保育防災に取り組む保育者に与えられるものです。

その志は、「東日本大震災」の被災地に通う中で、被災地の人々から受け継ぎ、培われたものです。

この時期に、あらためて確認し合いたいと思います。

(写真：保育防災アクションマイスター認定バッジ)

(目次)

1. J P子どもの森づくり運動「全国集会＆研修会2022」実施レポート
2. リレーエッセイ (2022年2月号)
3. 事務局からのお知らせ

■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。

しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営：NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛：日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育連盟

NPO法人 富良野自然塾

(公社)大谷保育協会

(公社)こども環境学会

保育環境研究所ギビングツリー

国際校庭園庭連合日本支部

(公社)国土緑化推進機構

(一社)日本森林インストラクター協会



1. JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2022」実施レポート

恒例の「全国集会&研修会2022」が、2022年2月14日(月)、15日(火)の両日で、オンラインで開催されました。今回の大会では、「**幼児(少)期の環境教育**」をメインテーマに、それに紐づく、**自然・環境体験活動、園庭緑化、保育防災**の三つの実践テーマについて、参加者と共に協議させていただき、参加者それぞれの保育・幼児教育に少しでも役立つ成果を持ち帰っていただくことを目的として実施しました。新型コロナウイルス感染症が拡大する状況の中、全国から約50名の参加申し込みをいただきました。終了後のアンケートによると全体として好評で、何がしかの成果をご提供できたのではと、運営サイドとして安堵しております。以下、簡単な実施レポートをお送りします。なお、ホームページで、より詳細なレポートを掲載しておりますのでそちらもご覧いただければ幸いです。

1) 実施概要

- 開催日：2022年2月14日(月)、15日(火)
- 主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
- 共催：認定こども園 大野幼稚園 国際校庭園庭連合日本支部
- 特別協賛：日本郵政グループ
- 後援：（公社）こども環境学会 （公社）大谷保育協会
- 協力：（公社）全国私立保育連盟 （公社）国土緑化推進機構 保育環境研究所ギビングツリー、その他

2) 実施内容

【1日目】

■ 基調講演

- テーマ：環境教育としての自然体験
～こどもの自然体験の重要性～
- 講師：北海道教育大学 教育学部
岩見沢校アウトドア・ライフコース
教授 能條 歩先生（写真右）



■ パネルディスカッション

- テーマ：幼児(少)期の環境教育～その意義と方法～
- パネラー（オンライン）
 - ・北海道教育大学 教育学部教授 能條 歩先生
 - ・全国私立保育連盟副会長
三和新琴似保育園 園長 菊地秀一先生
 - ・大谷保育協会会長 銀の鈴幼稚園園長 五島 満先生
 - ・子森ネット理事 大野幼稚園 園長 藤 兼量先生
- コーディネーター：子森ネット代表理事 塚原 茂



■ 「園庭緑化運動」モデル園活動発表、及び総括

- モデル園3園による活動発表
 - ①東京都「三茶こだま保育園」 ②静岡県「エンゼル幼稚園」
 - ③鹿児島県「こども園ほしのこ」
- アドバイザーによる2年間の活動総括
田園調布学園大学大学院 人間学研究科
子ども人間学専攻 准教授 仙田 考先生（写真右）




【2日目】

3) 「保育防災アクションマイスター認定講座2022」受講園活動発表、及び保育防災講座

■ 保育防災認定講座受講園活動発表

- ①新潟県「つくし幼稚園」
- ②東京都「春明保育園」
- ③岩手県「あかまえこども園」
- ④岩手県「豊間根保育園」
- ⑤岩手県「織笠保育園」
- ⑥岩手県「山田町第一保育所」
- ⑦東京都「新宿こだま保育園」
- ⑧東京都「駒沢こだま保育園」
- ⑨東京都「三茶こだま保育園」
- ⑩埼玉県「児玉保育園」
- ⑪東京都「第二いちご保育園」





■ 保育防災講座

- 講師：消防庁防災アドバイザー
(株)タフ・ジャパン 代表取締役 鎌田修広氏
- テーマ：過去の教訓を生かした本気の防災アクション
- 主な内容
 - * 大川小学校事故の全体像（構造）の図式化
 - * 危機管理で大切な3つの原則：予測、予防、対応
 - * 安全の定義
 - * 危機管理の組織運営

4) 保育防災アクションマイスター1期生認証（定）式、及び2期生募集オリエンテーション

■ 保育防災アクションマイスター1期生17人への「認証状」と、マイスターを配する園に送られる認定園の「認定証」の授与式をオンラインで実施しました。「保育防災アクションマイスター認定委員会」代表 塚原茂より認証状と認定バッジが、同委員会委員長の鎌田さんから認定園への認定証が授与されました。



■ 「保育防災アクションマイスター」2022年度受講生募集オリエンテーション

「保育防災アクションマイスター認定講座」の1期生が、無事、巣立っていきました。J P子どもの森づくり運動としては、保育防災認定講座の活動をこれからも大きく広げてまいりたいと思っており、2期生の受講生募集について概要をご案内しました。

2. リレーエッセイ (2022年2月号)

リレーエッセイ2021年度のアンカーとして、2022年1月～3月の期間を、子森ネットの理事である、福井県大野幼稚園の藤 兼量園長先生にご担当いただきます。より良き保育・幼児教育を実践する保育者であると同時に、全国の保育者をサポートするNPO理事としての立場でメッセージをお送りいただきます。

『本当のこころを中心とした保育2』

認定こども園 大野幼稚園 園長 藤 兼量



我々大人たちは知らず知らずの間に『本当のこころ』に背を向ける生き方を信奉してきました。そのことは現在のすべての場面で、当たり前になってしまっています。私の生活を通してお話しさせていただくと、『便利』を正義としてしまっている自分があります。簡単に成果だけを得ようとする姿勢が無意識のうちに働いてしまっているのです。保育の現場に於いても、子どもたちの健やかな育ちを願っているにもかかわらず、発達・発育の成果にとらわれて一人ひとりの存在の大切さを見失いがちになります。『生活発表会』や『保育参観』などで子どもたちは歌ったり踊ったり劇をしたり、保護者の前で精一杯の表現をしますが、ともすると保育者は1つの『演し物』と捉えてその完成度を上げることに躍起になります。その結果、子どもたちの緊張感を煽り、歌うことの楽しさや、踊りで無意識に体を動かすワクワク感等を奪い取っているのではないのでしょうか。『便利』な時代になればなるほど見失ってしまうものがあるのだと思います。

最近インターネットやテレビなどの技術開発が進み、居ながらにして世界の貴重な映像や画像を見ることができるようになりました。例えば自分で登山をしなくても、山頂からの風景を見ることができます。しかし、汗を流し重いリュックを背負って、何時間もひたすら山道を歩いたものが、眼前に広がる風景と出会う、その感激はその人の体に染み込み『生命感覚』として生涯の財産となります。『便利』に手に入れた風景からは、このようなものは生まれないでしょう。



『生命感覚』というのは計測したり優劣をつけたり評価したりはできません。しかし私たちが人間関係を構築し、社会生活を送る上で大変重要なものだと思います。相手に対する『信頼』や『尊敬』さらに人間以外の様々な『いのち』に対する『尊重』や自然の作用に対する『畏敬』の姿勢が育まれていく基礎となるものだと思います。

幼少期の環境教育を課題とする私たちにとって、『便利』の名の下に成果にとらわれている自信のあり方とどこかの場面で向き合うことが必要です。そして保育者自身の『生命感覚』を通して子どもたちの育ちを考える作業を繰り返す、多くの失敗をしながら子どもたちと共に工夫をし続けていく実践が、求められているのではないのでしょうか。日常の保育の中でも常に子どもたちの五感に届く『様々な遊び』の工夫をしながら、一人ひとりの子どもが興味を持って、その遊びを獲得してゆけるように願ってやみません。

3. 事務局からのお知らせ：「保育防災アクションマイスター認定講座」2022年度受講生募集

「全国集会&研修会2022」（以下「全国集会」）において、「保育防災アクションマイスター」の1期生が認証され、2021年度の認定講座が終了します。つきましては、「保育防災アクションマイスター認定講座」2022年度受講生（2期生）の募集を開始します。募集の詳細は、同封の募集パンフレットをご覧ください。ホームページからもお申込みいただけます。多くの参加園からの申し込みをお待ち申し上げます。